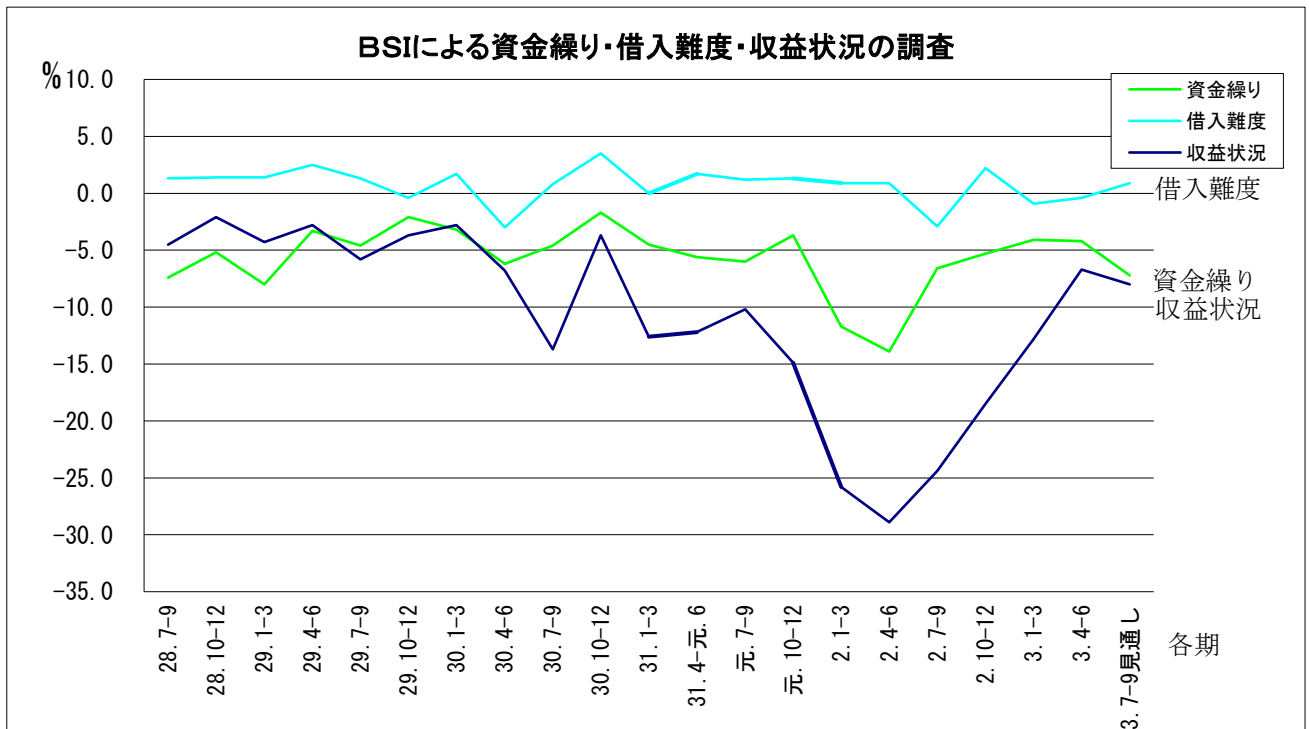
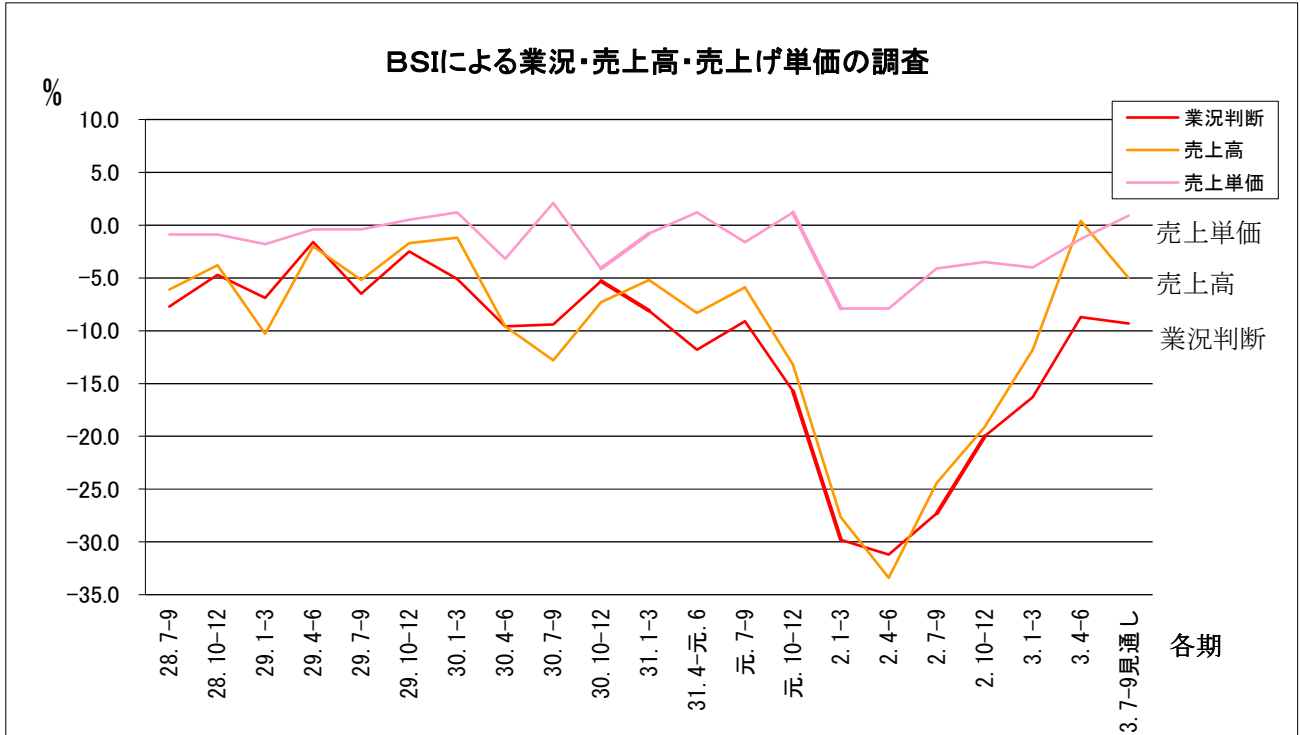


「業況判断」「売上高」「収益状況」は4期連続で上昇。

中小企業景況調査令和3年4-6月期(令和3年7-9月期予測)

—鳥取県下4商工会議所の調査より—



*BSI=(上昇・増加-減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)
 経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

今期は「業況判断」「売上高」「売上単価」「収益状況」で、前回調査の上昇見通しを上回りました。

来期は「業況判断」「売上高」「資金繰り」「収益状況」での下降が見通されています。

また、この調査のデータ集計以降に、県西部地区には特別警報が発令され、7/21には飲食店への営業時間短縮が要請される事態に発展したため、来期の見通しよりも大きな下降が予測されます。

産業毎の「業況判断」では「サービス業」18.5ポイント、「製造業」10.6ポイント上昇をはじめ、「建設業」以外は上昇しました。

来期は「製造業」「サービス業」以外の業種は下降見通しがされています。

また、一般食料品製造業の、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア向け企業は好調を維持できているものの、観光向け企業は依然厳しい状態が続いています。

さらに、調査依頼企業からも意見をいただいているように、鋼材の単価上昇に伴い、鉄骨加工企業の収益状況はこれから悪化することが予測されます。

■直面している経営上の問題点

- 1位:売上・受注の減少(18.53%)
- 2位:消費・需要の停滞(14.12%)
- 3位:原材料・仕入れ価格上昇(10.59%)
- 4位:競争激化(10.00%)
- 5位:人手不足(9.41%)

■各社からのその他の問題点

- ・公共土木工事の発注が鈍く、収益環境も厳しい状況。(建設業)
- ・職域接種への迅速な対応を期待しています。(建設業)
- ・誘致企業ではなく、鳥取資本の企業が成長できる対策を考えないと地域の活力が衰退してしまう。誘致企業は失敗したら撤退してしまうので、投下された税金が無駄になる。その責任は誰がとるのか。(製造業)
- ・新型コロナウイルス感染症以外の助成金・補助金の充実をお願いしたい。(製造業)
- ・鉄の価格が高騰しており、それに伴い様々な購入品の価格も高騰しています。いずれ自動車メーカーでもその問題が取り上げられ、社会問題になると予測しています。(製造業)
- ・コロナの影響は大きい。主要得意先の売上半減以下。(製造業)
- ・飲食業では感染者がでると人の動きが悪くなる(特に夜)。金融関係企業の外食禁止の影響がでている。個人的には単独での外食は良いのではないかと思う。(サービス業)
- ・前期4~6月期は全巻休業。今期7~9月期は「GOTO」の再開延長、コロナ禍状況により不透明。よって、昨年コロナ発生以来、(補助・助成金除き)通常業績としては最悪である。(サービス業)
- ・夏休みに向かうこともあり、予約数は伸び始めています。ただ、旅館組合が行おうとしていた職域接種の予定が未定となり、ワクチン接種が滞りつつあります。(サービス業)
- ・コロナの問題で先が見えません！！給付金を増やしてほしい。申請手続きを簡単にしてほしい。(小売業)